＊北海道公報

発行 北 海 道
編集 総 務 部
行 政 局
文 書 課
電話 011-204-5035
FAX 011-232-1385

目 次 ページ

告 示

○令和2年度鳥獣保護区の指定	(自然環境課)	1
○令和2年度鳥獣保護区の更新	(自然環境課)	1
○令和2年度鳥獣保護区特別保護地区の指定	(自然環境課)	4
○令和2年度特定猟具使用禁止区域の指定	(自然環境課)	5

告 示

北海道告示第602号

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第1項の規定により、次の鳥獣保護区を指定した。

その区域を表示した図面は、北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。

令和2年9月30日

北海道知事 鈴木直道

- 1 (1) 名 称 舞鶴遊水地鳥獣保護区
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和22年9月30日まで（20年間）
- (4) 保護に関する指針

- ア 鳥獣保護区の指定区分
希少鳥獣生息地の保護区
- イ 鳥獣保護区の指定目的

舞鶴遊水地鳥獣保護区は、夕張郡長沼町南西端に位置し、千歳川の治水対策として整備され、平成27年度から供用を開始した遊水地である。敷地内の広大な面積や自然環境を活かし、平時は採草地、環境学習、バードウォッチングなどの利活用が行われている。

当該区域は春と秋の渡りの時期には多くのガン・カモ類が飛来するほか、夏期にはサギ類をはじめとし、一年を通じて多くの野鳥の生息地となっている。

特に、タンチョウについては平成30年度と令和元年度の2年連続の越冬に続き、令和2年にはヒナが誕生し、管内で初めての繁殖地となった。

このため、道央における貴重なタンチョウ繁殖地として、加えて多くの野鳥の生息

域として重要であることから、これらの鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区に指定する。

- ウ 管理方針
次のとおり

- 2 (1) 名 称 キナシベツ湿原鳥獣保護区
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 保護に関する指針

- ア 鳥獣保護区の指定区分
希少鳥獣生息地の保護区
- イ 鳥獣保護区の指定目的

キナシベツ湿原鳥獣保護区は、釧路総合振興局管内西端の太平洋岸に位置し、直別川とキナシベツ川の河口に挟まれた草地からなる。隣接する低層湿原にはヨシ・スゲ群落にハンノキ林、海岸砂丘にはハマナスなどの海浜植生が広がりコケモモの群落が見られ、草地として開発された当該区域も河川は一部で改修されているが、なお原生的な雰囲気有している。

また、当該区域はタンチョウの繁殖地であり、オジロワシ等の希少鳥獣の飛来地としても重要であることから、鳥獣保護区に指定する。

- ウ 管理方針
次のとおり

（「次のとおり」は省略し、その関係書類を北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。）

北海道告示第603号

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第7項の規定により、次の鳥獣保護区を更新した。

その区域を表示した図面は、北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局又は振興局の保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。

令和2年9月30日

北海道知事 鈴木直道

- 1 (1) 名 称 濁川鳥獣保護区
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和22年9月30日まで（20年間）
- (4) 保護に関する指針

- ア 鳥獣保護区の指定区分
森林鳥獣生息地の保護区
- イ 鳥獣保護区の指定目的

濁川鳥獣保護区は、茅部郡森町に所在するJR北海道函館本線石谷駅の南西約7km

の周囲に広がる国有林野で、狗神岳の標高200mから700mまでの斜面に位置し、濁川支流や大小3つの沼を有する。ブナやミズナラなどの広葉樹の天然林や人工林が点在し、エゾライチョウやクマガラなど森林性の鳥獣の生息環境として好適であり、野生鳥獣の保護を図るため、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 2 (1) 名称 花岡鳥獣保護区
(2) 区域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和22年9月30日まで（20年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分
森林鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

花岡鳥獣保護区は、山越郡長万部町に所在するJR北海道函館本線中ノ沢駅から西約5kmの地点に広がる国有林野で、ブナやミズナラを主体とする天然林である。起伏に富んだ丘陵地で、中心を横切るようにワルイ川支流が流れ、エゾライチョウやオオアカゲラなど森林性の鳥獣の生息環境として好適であり、野生鳥獣の保護を図るため、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 3 (1) 名称 野上鳥獣保護区
(2) 区域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分
森林鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

野上鳥獣保護区は、JR北海道石北本線遠軽駅から南西約8kmに位置し、区域の北側には湧別川が流れている。標高120mから370mまでの山稜地で、林相はミズナラ、イタヤ、シナノキ、シラカンバ等の天然林である。シジュウカラやアカゲラ等の森林性の鳥獣の生息地として好適であり、野生鳥獣の保護を図るため、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き野生鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 4 (1) 名称 円山鳥獣保護区
(2) 区域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分
森林鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

円山鳥獣保護区は、紋別郡湧別町計呂地市街地から北約2kmに位置し、サロマ湖に面した標高160mの円山を中心とした森林であり、全域が網走国定公園の第2種特別地域に指定されている。

また、イタヤ、ヤチダモ、ミズナラ等の天然林となっており、アカハラ、ホオジロ等の森林性の鳥獣の生息地として好適であることから、野生鳥獣の保護を図るため、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 5 (1) 名称 キムアネップ鳥獣保護区
(2) 区域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分
集団渡来地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

キムアネップ鳥獣保護区は、常呂郡佐呂間町浜佐呂間市街地から北西約6kmに位置し、区域の中央部にはアネップナイ川が流れており、三方をサロマ湖に囲まれた景勝地として、大部分の区域が網走国定公園の第2種特別地域に指定されている。湖岸部分はハマナス、センダイハギ等からなる海岸草原であり、区域南西部にはアッケシソウ群落が広がる。

また、キムアネップ岬の一部はキャンプ場として整備、利用されている。オオハクチョウ等のカモ科及びシギ・チドリ科の渡来地として重要であることから、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の生息環境を保全するため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 6 (1) 名 称 女満別鳥獣保護区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分

集団繁殖地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

女満別鳥獣保護区は、網走郡大空町に所在するJR北海道石北本線女満別駅から北東約2kmに位置し、西側は網走湖に面している。林相はヤチダモ、ハルニレ、ヤナギ等の天然性広葉樹林となっており、その林床に広がるミズバショウを特徴とする低湿地群落は北方地域を代表する景観であり、「女満別湿性植物群落地」として国の天然記念物に指定されている。

また、当該区域は、湖沼に生息する鳥類のほか、森林・草原性の鳥獣が生息しており、特にアオサギのコロニーはその規模の大きさから有名で、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 7 (1) 名 称 新嵐山鳥獣保護区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分

森林鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

新嵐山鳥獣保護区は、河西郡芽室町市街地から南南西に約10km進んだ、標高340mの新嵐山の北東側に位置し、ナラ類、ヤチダモ等の広葉樹等からなる天然林及びカラマツ等の人工林で構成されている。

また、良好な林相を反映し、シジュウカラ等の森林性の鳥獣の生息環境として好適であり、野生鳥獣の保護を図るため、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 8 (1) 名 称 留真飛田鳥獣保護区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）

- (4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分

森林鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

留真飛田鳥獣保護区は、十勝郡浦幌町市街地から北北西約15kmの位置にあり、緩やかな起伏をなす緩傾斜地形で、トドマツ、カバ類及びナラ類の天然針広混交樹林並びにカラマツ及びトドマツなどの人工林で構成されている地域である。シジュウカラ等の森林性の鳥獣の生息環境として好適であり、野生鳥獣の保護を図るため、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 9 (1) 名 称 広内鳥獣保護区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分

身近な鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

広内鳥獣保護区は、上川郡新得町市街地から西約5kmの方向に位置し、標高360mから400mまでの間を起伏する緩傾斜地帯である。付近一帯に広がる森林はトドマツ、エゾマツ及びハンノキなどの針広混交林で構成されている地域で、シジュウカラ等の森林性の鳥獣が多数生息している。また、住民の自然観察の場として親しまれており、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図り、自然とのふれあいの場を確保するため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 10 (1) 名 称 茨散沼鳥獣保護区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分

森林鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

茨散沼鳥獣保護区は、野付郡別海町に所在する別海町立別海中学校から北西約5.8kmに位置しており、茨散沼のほか、ヨシの優占する低層湿原、トドマツ及び天然広葉樹

林を主体とする森林からなる区域である。

また、アカゲラやフクロウ、シジュウカラ等、森林性の鳥獣の生息環境として好適であり、野生鳥獣の保護を図るため、昭和55年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 11(1) 名 称 根室丹根沼水源地鳥獣保護区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分

集団渡来地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

根室丹根沼水源地鳥獣保護区は、根室市に所在するJR北海道根室本線東根室駅から北東約2kmに位置しており、ヨシが優占する低層湿原と、天然の針広混交樹林及びエゾマツやトマツの人工林からなる標高約35mの区域である。タンチョウやキンクロハジロ等の水禽類の生息環境として好適であり、また、これらの自然環境が、人為的影響の極めて少ない状態で保全されていることが注目されたため、昭和55年に集団渡来地の保護区として道指定鳥獣保護区に指定された。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 12(1) 名 称 望ヶ丘森林公園鳥獣保護区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
(4) 保護に関する指針

ア 鳥獣保護区の指定区分

身近な鳥獣生息地の保護区

イ 鳥獣保護区の指定目的

望ヶ丘森林公園鳥獣保護区は、標津町役場から南約1.3kmに位置しており、ミズナラを主体とする天然広葉樹林やカラマツを主体とする人工林で、ヤマゲラやコゲラ、シジュウカラ等、森林性の鳥獣が多数生息している。

また、住民の自然観察の場として親しまれており、平成2年に道指定鳥獣保護区に指定している。

現在の存続期間の満了に当たり、引き続き鳥獣の保護を図り、自然とのふれあいや環境教育の場を確保するため、鳥獣保護区の指定を更新する。

ウ 管理方針

次のとおり

（「次のとおり」は省略し、その関係書類を北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局又は振興局の保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。）

北海道告示第604号

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第29条第1項の規定により、次の特別保護地区を指定した。

その区域を表示した図面は、北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局又は振興局の保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。

令和2年9月30日

北海道知事 鈴木直道

- 1(1) 名 称 濁川鳥獣保護区濁川特別保護地区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和22年9月30日まで（20年間）
(4) 保護に関する指針

ア 道指定鳥獣保護区の指定区分

森林鳥獣生息地の保護区

イ 特別保護地区の指定目的

濁川特別保護地区は、茅部郡森町に所在するJR北海道函館本線石谷駅の南西約8kmの周囲に広がる国有林野で、狗神岳の標高400mから650mまでの斜面に位置し、濁川支流や沼を有する。ブナやミズナラなどの広葉樹の天然林で、エゾライチョウやクマガラなど森林性鳥獣の生息環境として特に好適であるため、鳥獣及びその生息環境を保全する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 2(1) 名 称 花岡鳥獣保護区花岡特別保護地区
(2) 区 域 次のとおり
(3) 存続期間 令和2年10月1日から令和22年9月30日まで（20年間）
(4) 保護に関する指針

ア 道指定鳥獣保護区の指定区分

森林鳥獣生息地の保護区

イ 特別保護地区の指定目的

花岡特別保護地区は、山越郡長万部町に所在するJR北海道函館本線中ノ沢駅から西約4kmの地点に広がる国有林野で、ブナやミズナラを主体とする天然林である。中心を横切るようにワルイ川支流が流れ、沼地や丘陵地、急傾斜地など変化に富んだ地形を有する。エゾライチョウやオオアカゲラなど森林性の鳥獣や崖地を好むエゾムシクイなどの生息環境として特に好適であるため、鳥獣及びその生息環境を保全する。

ウ 管理方針

次のとおり

- 3 (1) 名 称 女満別鳥獣保護区女満別特別保護地区
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 保護に関する指針

ア 道指定鳥獣保護区の指定区分

集団繁殖地の保護区

イ 特別保護地区の指定目的

女満別特別保護地区は、網走郡大空町に所在するJR北海道石北本線女満別駅から北東約2kmに位置し、区域の西側は網走湖に面している。林相はヤチダモ、ハルニレ、ヤナギ等の天然性広葉樹林となっており、その林床に広がるミズバショウを特徴とする低湿地群落は北方地域を代表する景観であり、「女満別湿性植物群落地」として国の天然記念物に指定されている。

また、当該区域は、湖沼に生息する鳥類のほか、森林・草原性の鳥獣が生息しており、特に大規模なアオサギの集団繁殖地となっているため、当該地域で繁殖する鳥獣及びその繁殖地の保護を図る。

ウ 管理方針

次のとおり

- 4 (1) 名 称 根室丹根沼水源地鳥獣保護区根室丹根沼水源地特別保護地区
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 保護に関する指針

ア 道指定鳥獣保護区の指定区分

集団渡来地の保護区

イ 特別保護地区の指定目的

根室丹根沼水源地特別保護地区は、根室市に所在するJR北海道根室本線東根室駅から北東約2kmに位置しており、周辺の湿原、森林等を含めた標高約20mの区域である。湿原はヨシが優占する低層湿原で、森林は天然の針広混交林及びエゾマツやトマツの人工林となっている。

また、良好な植生を反映し、タンチョウが生息するほか、水禽類や森林性の鳥類が多数生息している。これらの自然環境が人為的影響の極めて少ない状態で保全されているため、渡来する鳥類及びその生息環境を保全する。

ウ 管理方針

次のとおり

（「次のとおり」は省略し、その関係書類を北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局又は振興局の保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。）

北海道告示第605号

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第35条第1項の規定により、次のとおり特定猟具使用禁止区域を指定した。

その区域を表示した図面は、北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局又は振興局の保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。

令和2年9月30日

北海道知事 鈴木直道

- 1 (1) 名 称 晩翠遊水地特定猟具使用禁止区域
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 禁止に係る特定猟具の種類 銃器
- 2 (1) 名 称 花畔特定猟具使用禁止区域
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 禁止に係る特定猟具の種類 銃器
- 3 (1) 名 称 当別・石狩川特定猟具使用禁止区域
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 禁止に係る特定猟具の種類 銃器
- 4 (1) 名 称 ヨコスト湿原特定猟具使用禁止区域
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 禁止に係る特定猟具の種類 銃器
- 5 (1) 名 称 浦幌豊北特定猟具使用禁止区域
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 禁止に係る特定猟具の種類 銃器
- 6 (1) 名 称 釧路川源流域特定猟具使用禁止区域
- (2) 区 域 次のとおり
- (3) 存続期間 令和2年10月1日から令和12年9月30日まで（10年間）
- (4) 禁止に係る特定猟具の種類 銃器

（「次のとおり」は省略し、その関係書類を北海道環境生活部環境局自然環境課及び所在地を所管する総合振興局又は振興局の保健環境部環境生活課に備え置いて縦覧に供する。）